

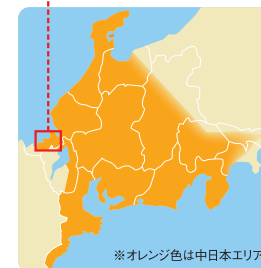
舞鶴若狭道



自然と  
人をつなぐ  
道づくり



これからも「生物多様性に配慮した取り組み」を  
行っています



※オレンジ色は中日本エリア

中日本高速道路株式会社  
名古屋市中区錦 2-18-19  
三井住友銀行名古屋ビル 〒460-0003  
TEL:052-222-1620  
<http://www.c-nexco.co.jp>

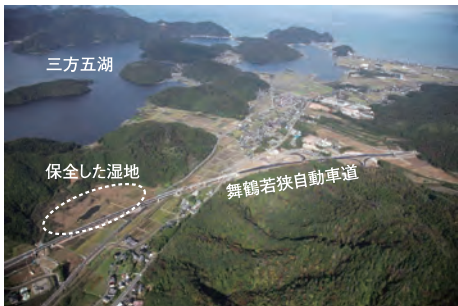


二〇一四年七月に舞鶴若狭道 小浜インターチェンジ（IC）〜敦賀ジャンクション（JCT）が開通し、舞鶴若狭道が全線開通しました。北陸道と中国道に接続し、広域ネットワークが形成され、流通の促進などが期待されます。舞鶴若狭道は三方五湖をはじめとする若狭湾国定公園に隣接した自然豊かな地域を通過するため、長年にわたり生物多様性に配慮した様々な取組みを行ってきました。ここでは、その取組みの一部を紹介します。

## 1 湿地の保全

若狭三方IC付近は、わが国でも数少ない「低層湿原※」です。湿地性の貴重な動植物を保全するため、当初予定していた盛土構造を橋梁に変更し、湿地の改変を最小化しました。

※低層湿原／河川の下流域や地下水位の高い所などにみられる湿原。ヨシ・スゲ類が生育する。



若狭三方IC付近の様子



保全した湿地の様子



## 2 希少植物の移植

工事前の調査で、湿地には、ミズアオイやサワオグルマ、サワギキョウ、カキツバタなどの希少な湿生植物が多く確認されました。工事改変部に確認された希少植物は、工事の影響のない場所に移植しました。



## 3 這い出し可能な水路

絶滅危惧種であるダルマガエルやその他の小動物を保全するために、水路は傾斜をつけて粗面にし、小動物が水路に落ちてこの這い出すことのできる構造にしました。

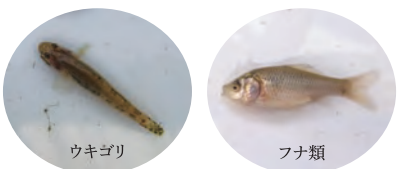


## 4 魚類産卵池の整備

様々な魚類が集まる産卵池が工事改変部にあったため、隣りに代替の産卵池や水路を整備しました。



代替の産卵池



後、新しい池では、フナ類やウキゴリ等の生息が確認されています。

## 5 周辺景観との調和

三方五湖PAは、名勝「三方五湖」の区域内に位置するため、周囲の景観を損なわないよう、敷地の形状や高低差、構造物の配置やデザインなどを工夫し、調和を図りました。



湖側から見たPAの様子

## 6 マツの移植

北陸道で植栽後約三十年が経過し、間伐が必要になったクロマツを、舞鶴若狭道の敦賀JCT付近へ移植しました。植物資源を無駄にすることなく有効活用しています。



移植前準備（根廻し）の様子



移植後の様子

## 7 猛禽類への配慮

建設工事現場の近くでオオタカやクマタカ等の営巣が確認されたため、監視調査を続けながら、慎重に建設作業を行いました。



クマタカ

## 8 「地域性苗木」による樹林化

地球温暖化の抑制や生物多様性保全のため、高速道路のり面を積極的に樹林化しています。建設現場では、周辺に自生する種子をあらかじめ採取して、その種子から育てた「地域性苗木」を植えています。



種採取の様子

地域性苗木を用いることで、地域に自生している樹種を植えることができます。さらに、他の地域の植物との交雑を避け、地域が本来持っている遺伝子レベルで生物多様性を守ることができま。舞鶴若狭道には約三万五千本の地域性苗木を植栽しました。